

会議録

会議の名称	第2回子ども子育て審議会計画専門部会
開催日時	令和5年7月11日（火曜日）午前9時30分から午前11時まで
開催場所	田無第二庁舎 5階会議室
出席者	委員：小野委員、島崎委員、菅野委員、関根委員、武田委員、三橋委員 事務局：遠藤子育て支援部長、岡田子育て支援課長、齋藤幼児教育・保育課長、笹本幼児教育・保育課主幹、中村幼児教育・保育課主幹、河野児童青少年課長、宮崎子ども家庭支援センター長、栗林子育て支援課長補佐、本谷子育て支援課調整係主査
議題	1 審議 (1) 子育て支援ニーズ調査について (2) 子どもの生活実態調査について (3) 出産・子育て意識調査について (4) 事前ヒアリングについて 2 その他
会議資料の名称	資料1-1 子育て支援ニーズ調査票（案）未就園児の保護者 資料1-2 子育て支援ニーズ調査票（案）小学生の保護者 資料2-1 子どもの生活実態調査 小学生票（案） 資料2-2 子どもの生活実態調査 中学生票（案） 資料2-3 子どもの生活実態調査 保護者票（案） 資料3 出産・子育てに関する意識調査について 資料4 出産・子育てに関する意識調査票（案） 資料5 事前ヒアリングについて
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1 審議</p> <p>(1) 子育て支援ニーズ調査について</p> <p>○小野部会長： 子育て支援ニーズ調査について事務局から説明願う。</p> <p>○事務局： 回答方式は紙面またはWEBのどちらかを選択いただくが、現段階では紙面で説明する。 資料1-1、資料1-2に沿って説明。</p> <p>○小野部会長： 委員の皆様から意見や質問はあるか。</p> <p>○武田委員： 資料1-1問57と58の設問の違いが読み取りづらいので、「意見を言っていた」と</p>	

「意見を言いたかった」の部分を太字にするなどしてわかりやすく表記いただきたい。

○関根委員：

資料1-1問57、58は、見開きのページで読める方が見やすいのではないかと。

また、設問にある「子どもだった時代」は何歳を想定しているか。想定があれば、記載した方がよいのではないかと。

○事務局：

中高生を想定しているが、いかがかと。

○委員：

異議なし

○事務局：

それでは、「子どもだった時代」の記載方法を検討する。

○島崎委員：

同設問の「学校でのこと」に部活動の決め方についても項目を追加いただきたい。

○事務局：

追加する。

○小野部会長：

資料1-1問51「あなたはお子さんをたたくことがありますか」について、たたくだけでなく、暴力的な発言や無視など言葉の暴力などもあるため、他の暴力行為についても追加した方がよいのではないかと。

○事務局：

子ども生活実態調査の中にも、類似する質問はあるが追加を検討する。

○小野部会長：

資料1-1問18の子育て応援アプリ「いこいこ」のQRコードについて、アンドロイド端末での読み取りができないため確認いただきたい。

同資料問38の病児・病後児保育施設を「利用する予定はない」と回答した方については、その理由を聞くことを検討いただきたい。なぜ利用されないか把握されないまま、他自治体で施設が減らされるということが起きている。

○事務局：

QRコードについては、確認する。

病児・病後児保育施設の利用に関しては、病院受診のハードルが高いことなどが原因として考えられる。実態を調査できればと思う。

(2) 子どもの生活実態調査について

○小野部会長：

子どもの生活実態調査について事務局から説明願う。

○事務局：

回答方式は紙面またはWEBのどちらかを選択いただくが、現段階では紙面で説明する。

調査項目は、全国の調査結果と比較できるように内閣府の調査を基にしながら、前回の専門部会でのご意見を踏えまて設定した。

資料2-1、資料2-2、資料2-3に沿って説明。

○小野部会長：

委員の皆様から意見や質問はあるか。

○三橋委員：

資料2-1問20の平日のスマートフォン・携帯電話の使用時間について、タブレットも追加いただくのが良いと思う。

○事務局：

タブレットを追加する。

○島崎委員：

資料2-1問24の選択肢hに自殺というワードがあるが必要か。

○事務局：

内閣府の調査と同じ選択肢を採用しており、比較検討のため表現を削除するか否か検討する。

○関根委員：

資料2-3問30子育てに関する施設の説明を加えた方が分かりやすいのではないか。

資料2-3問31の選択肢a生活福祉資金は、障害者に限った支援ではないため、文言整理をしていただきたい。

○事務局：

問30は、名称を知らずに利用している方もいると思うので説明を追加する。

問29は、説明書きを修正する。

○三橋委員：

最後の自由記述欄は、スペースを広げてはいかがか。

○武田委員：

設問と回答欄が別ページに記載される箇所があるので、改ページを変えると見やすいのではないか。

○事務局：

それぞれ修正する。

○小野部会長：

資料2-1問10「地域のスポーツクラブや文化クラブ」の表現は、小学校で実施しているクラブを意味しているのか分かりにくいのではないかと。

○三橋委員：

小学校の少年団や、小学校に属しているクラブチーム、地域のスポーツチーム（クラブチーム等）などの具体例を挙げながら補足して説明した方が良いと思う。月謝制のスポーツクラブと混同する人もいると思う。

○小野部会長：

学校での活動を知りたい主旨であれば、修正いただければと思う。

○事務局：

表現の見直しを行う。

○小野部会長：

資料2-1問3の選択肢に公文や通信教材も追加を検討いただきたい。

○事務局：

追加を検討する。

○菅野委員：

資料2-1問21の選択肢aに「マンガはのぞく」とあるが、除く必要はあるか。

○小野部会長：

マンガは、保護者に買ってもらうものであり、学習に関するものもあるので除かなくても良いと思う。

○事務局：

東京都調査の選択肢を採用しているが、マンガを除く意図を踏まえ再度検討する。

(3) 出産・子育て意識調査について

○小野部会長：

出産・子育て意識調査について事務局から説明願う。

○事務局：

出産・子育て意識調査の対象は、単身世帯や子どもがいない世帯の20～40歳男女である。別居している場合は、住民基本台帳上で子どもがいないと出るため無作為抽出され

るが、そのような方は除いて調査を行う。

資料3に沿って説明。

○小野部会長：

例えば、親と同居している場合は調査対象にならないということか。低所得の女性や男性は対象とならないのは致し方ないということか。

○事務局：

ご認識の通りである。

○小野部会長：

続けて、調査票についても説明願う。

○事務局：

回答はWEB方式となるが、説明の都合上、紙面をご覧ください。

資料4に沿って説明。

○小野部会長：

委員の皆様から意見や質問はあるか。

問13選択肢5は、子どもがいる前提となっているため、表現を変えるか削除いただいた方が良いと思う。

○事務局：

検討する。

○三橋委員：

同設問に関連して、不妊治療が高額であることから、子どもを諦めている方もいると思う。不妊治療に関連する項目も検討していただけると良いのではないか。

○菅野委員：

そのような方は、健康上の理由に含まれるように思う。答えたくない人は次の設問に移れるようにするなど、治療中の方にも配慮いただきたい。

○事務局：

国の調査でも不妊治療に関する項目は行われている。任意項目とするなど配慮し、追加の方向性で検討する。なお、WEB方式では設問によって必須項目と任意項目を分けることができる。

○島崎委員：

問15のサービスの中に「児童館」は載らないのか。赤ちゃんの集いも力を入れているので追加しても良いのではないか。

○事務局：

追加する。他にもサービスの項目に関してはご意見をいただきたい。

○小野部会長：

調査票から市の該当ホームページへの誘導は検討しているのか。

○事務局：

WEBの様式にもよるが、調査から離脱の恐れがあるため積極的には行わない方向性である。

(4) 事前ヒアリングについて

○小野部会長：

事前ヒアリングについて事務局から説明願う。

○事務局：

調査の精度を高めるために、保護者と支援者にヒアリングを実施する予定である。特に、保護者が関心を寄せていることを聞き取り、子どもの生活実態調査票に反映する。資料5に沿って説明。

○小野部会長：

委員の皆様から意見や質問はあるか。

○関根委員：

どのような意見が上がってくるか興味深い。

○事務局：

事前ヒアリングの実施状況は、共有させていただく。

○小野部会長：

それでは、保護者の視点や自立支援担当職員の視点から調査票を確認いただくため、事前ヒアリングを実施いただきたい。

2 その他

○事務局：

調査票に関するご意見やご質問等を7月19日（水）までにお寄せいただきたい。次回の部会では、再度調査票を確認いただく予定である。なお、今回は8月1日（火）午前9時30分から予定している。

○小野部会長：

それでは、第2回子ども子育て審議会計画専門部会を閉会する。

閉会